



2019年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月14日

上場会社名 ガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3765 URL <https://www.gungho.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 森下 一喜
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO財務経理本部長 (氏名) 坂井 一也 (TEL) 03-6895-1650
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第3四半期の連結業績(2019年1月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|----------------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2019年12月期第3四半期 | 82,041 | 32.8 | 25,503 | 47.7 | 25,735 | 47.7 | 16,805 | 58.5 |
| 2018年12月期第3四半期 | 61,763 | △11.8 | 17,265 | △38.7 | 17,423 | △38.1 | 10,601 | △40.9 |

(注) 包括利益 2019年12月期第3四半期 17,555百万円(59.4%) 2018年12月期第3四半期 11,012百万円(△39.9%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|----------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年12月期第3四半期 | 238.25 | 236.93 |
| 2018年12月期第3四半期 | 149.05 | 148.45 |

(注) 2019年7月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算出しております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|----------------|---------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2019年12月期第3四半期 | 104,055 | 88,871 | 80.1 |
| 2018年12月期 | 96,032 | 78,110 | 76.7 |

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 83,359百万円 2018年12月期 73,702百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2018年12月期 | — | 0.00 | — | 3.00 | 3.00 |
| 2019年12月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2019年12月期(予想) | — | — | — | — | — |

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2019年12月期の配当額は未定であります。

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日~2019年12月31日)

当社グループは、コンテンツ関連の新規性の高い事業を展開しており、短期的な事業環境の変化が激しいことなどから、業績の見通しにつきましては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期ごとに実施する決算業績及び事業の概況のタイムリーな開示に努め、通期の連結業績予想については開示しない方針です。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2019年12月期3Q | 95,210,316株 | 2018年12月期 | 95,210,316株 |
| ② 期末自己株式数 | 2019年12月期3Q | 25,521,898株 | 2018年12月期 | 24,061,743株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2019年12月期3Q | 70,538,267株 | 2018年12月期3Q | 71,126,923株 |

(注) 2019年7月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数は、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算出しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後当社ホームページで掲載する予定です。
- ・2019年11月14日(木)・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書（第3四半期連結累計期間） | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書（第3四半期連結累計期間） | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (セグメント情報) | 7 |
| (追加情報) | 7 |
| (重要な後発事象) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

日本におけるゲーム市場は、モバイルゲーム市場が緩やかに拡大を続けているほか、家庭用ゲームソフト市場も堅調に推移しており、2018年の国内ゲーム市場は前年比6.1%増加の1兆6,704億円^{※1}となりました。

一方、世界におけるゲーム市場も引き続き成長を続け、スマートフォンの普及拡大に伴い2018年の世界ゲームコンテンツ市場は前年比20.9%増加の13兆1,774億円^{※1}となり、家庭用ゲーム市場やPCオンラインゲーム市場においてもさらなる拡大が見込まれております。

このような状況の中、当社では引き続き「新規価値の創造」に向けグローバル配信を見据えたゲーム開発に注力すると共に、「既存価値の最大化」を図るため各ゲームのMAU（Monthly Active User：月に1回以上ゲームにログインしている利用者）の維持・拡大やゲームブランドの強化に取り組んでまいりました。

既存ゲームにつきましては、「パズル&ドラゴンズ」（以下「パズドラ」）は引き続き長期的にお楽しみいただくことを主眼に、新ダンジョン等の追加やゲーム内容の改善、他社有名キャラクターとのコラボレーション、eスポーツイベントの開催など、継続的にアップデート及びイベントを実施してまいりました。2019年9月25日からは「パズドラ」において新要素であるストーリーダンジョンを実装しており、MAUは引き続き堅調に推移しております。それらの結果、2019年10月24日に国内累計5,300万ダウンロードを突破いたしました。

新規ゲームにつきましては、2019年6月5日より日本にてサービスを開始した「ラグナロク マスターズ」は、ゲーム内イベントの開催やテレビCMを実施したことにより、MAUが好調に推移しております。また、株式会社カプコンと共同開発したスマートフォン向けカードゲーム「TEPPEN」を2019年7月4日^{※2}より北米・欧州にて、8月8日からはアジア・日本でサービスを開始いたしました。「TEPPEN」は国内外でのeスポーツイベントの開催やテレビCMを含めた広告宣伝の実施により、2019年9月4日には累計300万ダウンロードを突破しております。

子会社の事業につきましては、GRAVITY Co.,Ltd.が配信している「Ragnarok M: Eternal Love」の既存配信地域の売上が配信当初と比較して落ち着いてまいりましたが、継続的なアップデート及びイベントの開催により安定推移しており、引き続き当社グループの連結業績に貢献しております。また、2019年10月16日からは「Ragnarok M: Eternal Love」の欧州へのサービスを新たに開始いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は82,041百万円（前年同期比32.8%増）、営業利益25,503百万円（前年同期比47.7%増）、経常利益25,735百万円（前年同期比47.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益16,805百万円（前年同期比58.5%増）となりました。

なお、当社グループは単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けて記載しておりません。

※1 ファミ通ゲーム白書2019

※2 太平洋標準時

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間における資産合計は、104,055百万円（前連結会計年度末比8,023百万円増加）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い現金及び預金が増加したことによります。

負債合計は、15,183百万円（前連結会計年度末比2,738百万円減少）となりました。これは主に、買掛金及び未払法人税等が減少したことによります。

純資産合計は、88,871百万円（前連結会計年度末比10,761百万円増加）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、コンテンツ関連の新規性の高い事業を展開しており、短期的な事業環境の変化が激しいことなどから、業績の見通しにつきましては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期ごとに実施する決算業績及び事業の概況のタイムリーな開示に努め、通期の連結業績予想については開示しない方針です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2018年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日) |
|-------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 74,322 | 82,786 |
| 売掛金 | 11,739 | 8,989 |
| 有価証券 | 394 | 450 |
| 商品 | 2 | 7 |
| 仕掛品 | 68 | 86 |
| その他 | 1,608 | 1,761 |
| 貸倒引当金 | △11 | △15 |
| 流動資産合計 | 88,125 | 94,066 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産合計 | 325 | 747 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 141 | 670 |
| ソフトウェア仮勘定 | 1,821 | 3,022 |
| その他 | 115 | 114 |
| 無形固定資産合計 | 2,077 | 3,807 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 74 | 72 |
| 繰延税金資産 | 2,434 | 2,193 |
| その他 | 2,995 | 3,167 |
| 投資その他の資産合計 | 5,503 | 5,433 |
| 固定資産合計 | 7,906 | 9,989 |
| 資産合計 | 96,032 | 104,055 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2018年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 6,725 | 3,917 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 159 | 138 |
| 未払法人税等 | 4,427 | 3,132 |
| 賞与引当金 | 7 | 16 |
| その他 | 5,454 | 7,011 |
| 流動負債合計 | 16,774 | 14,217 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 132 | 104 |
| その他 | 1,014 | 862 |
| 固定負債合計 | 1,147 | 966 |
| 負債合計 | 17,922 | 15,183 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,338 | 5,338 |
| 資本剰余金 | 5,487 | 5,487 |
| 利益剰余金 | 143,051 | 157,706 |
| 自己株式 | △80,027 | △84,659 |
| 株主資本合計 | 73,850 | 83,873 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 為替換算調整勘定 | △148 | △513 |
| その他の包括利益累計額合計 | △148 | △513 |
| 新株予約権 | 885 | 835 |
| 非支配株主持分 | 3,522 | 4,676 |
| 純資産合計 | 78,110 | 88,871 |
| 負債純資産合計 | 96,032 | 104,055 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 61,763 | 82,041 |
| 売上原価 | 26,881 | 38,792 |
| 売上総利益 | 34,881 | 43,248 |
| 販売費及び一般管理費 | 17,615 | 17,745 |
| 営業利益 | 17,265 | 25,503 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 64 | 121 |
| 為替差益 | 84 | 112 |
| その他 | 15 | 34 |
| 営業外収益合計 | 164 | 269 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 3 | 20 |
| 自己株式取得費用 | — | 13 |
| その他 | 2 | 2 |
| 営業外費用合計 | 6 | 37 |
| 経常利益 | 17,423 | 25,735 |
| 特別利益 | | |
| 関係会社株式売却益 | — | 89 |
| 特別利益合計 | — | 89 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 690 | 40 |
| 投資有価証券評価損 | 31 | — |
| 特別損失合計 | 722 | 40 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 16,701 | 25,784 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 5,383 | 7,371 |
| 法人税等調整額 | 106 | 167 |
| 法人税等合計 | 5,489 | 7,538 |
| 四半期純利益 | 11,211 | 18,245 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 610 | 1,440 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 10,601 | 16,805 |

四半期連結包括利益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 11,211 | 18,245 |
| その他の包括利益 | | |
| 為替換算調整勘定 | △199 | △690 |
| その他の包括利益合計 | △199 | △690 |
| 四半期包括利益 | 11,012 | 17,555 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 10,459 | 16,440 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 552 | 1,115 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。